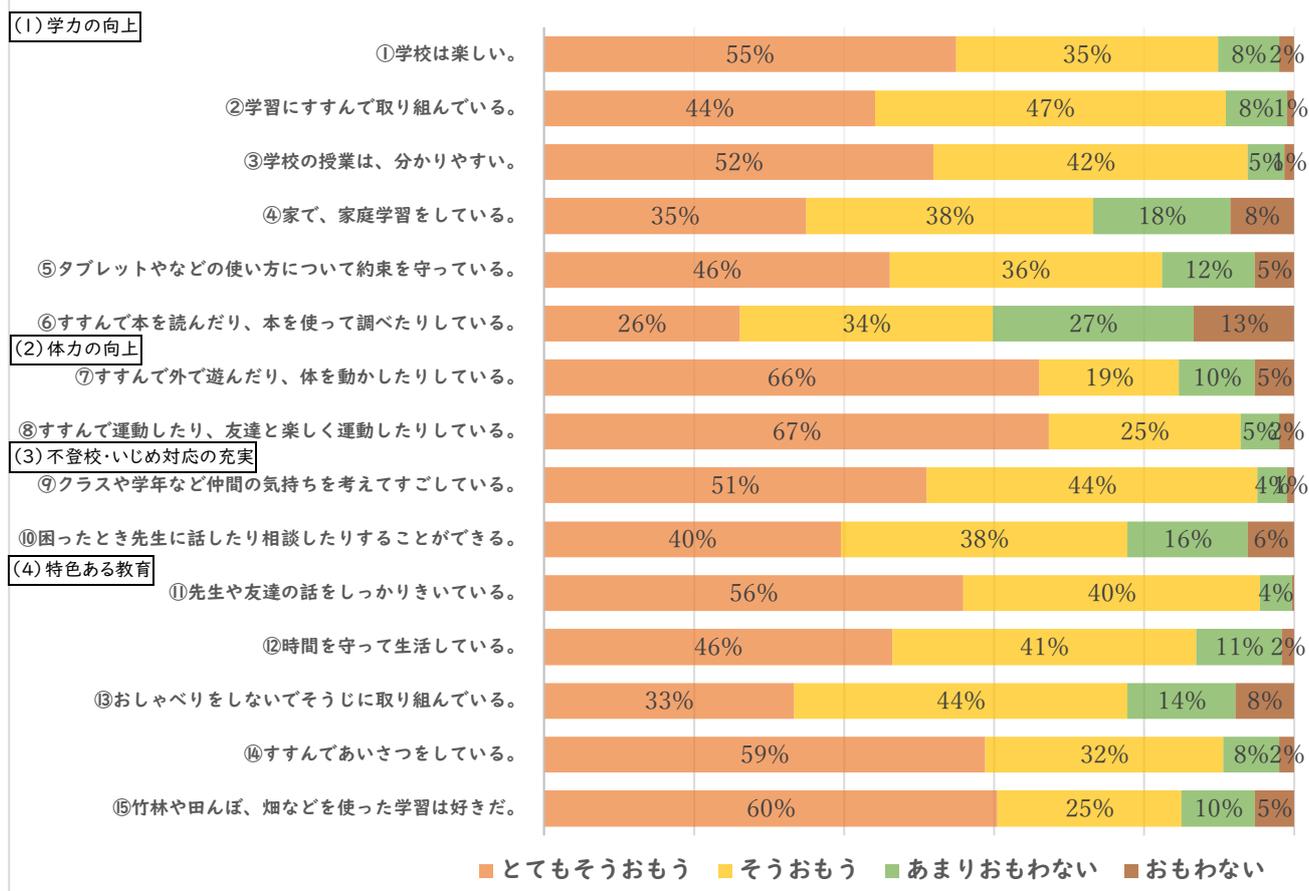


学校評価アンケート集計結果と考察

江戸川区教育委員会の重点課題に沿って結果を考察する。

Ⅰ 児童アンケートより

令和6年度 学校評価アンケート【児童】 回答数306



(1) 学力の向上

学力については、学校での学習に前向きに取り組む、自分の力を伸ばそうとする子供たちの意欲が感じられる。「学習にすすんで取り組んでいる」という設問に「とてもそう思う」と回答した子供が昨年度より10ポイント増加している。学習に対する意欲はあるものの、26%の子供たちが家庭ではなかなか学習に取り組めていない状況が見られる。また、読書や本を使った調べ活動についても肯定的回答が少なく、これらの点は本校の大きな課題である。子供たちの肯定的回答は子供たちが家庭で一人でも学習に取り組めるように、一人一台端末を活用したり、個に応じた課題を出したりするなどの工夫が必要である。

(2) 体力の向上

すすんで体を動かしたり、友達と楽しく運動したりすることができている子供が多いことが分かる。今年度は校内研究として体育科の授業改善に取り組んでおり、子供たちが楽しく運動するためにはどうすればよいか工夫を重ねていることも肯定的回答が多かった要因の一つではないかと考える。

(3) 不登校・いじめ対応の充実

「仲間の気持ちを考えて過ごしている」という設問に対して肯定的回答が95%と、思いやりの気持ちをもって学校生活を送っている子供が多いことが分かる。一方、「こまったことがあったとき、先生に話したり相談したりすることができる」という設問に対して「あまり思わない」「思わない」と答えた子供が22%いた。年間3回のふれあい月間の実施のほか、日頃から子供たちが相談しやすい環境づくり・雰囲気づくりをより一層心掛け、子供たちが安心して学校生活を送れるようにしていかなければならない。

(4) 特色ある教育の展開

☆「静(話を聴く)・整(時間を守る・そうじを大切にす)・動(あいさつをする)のある学校」

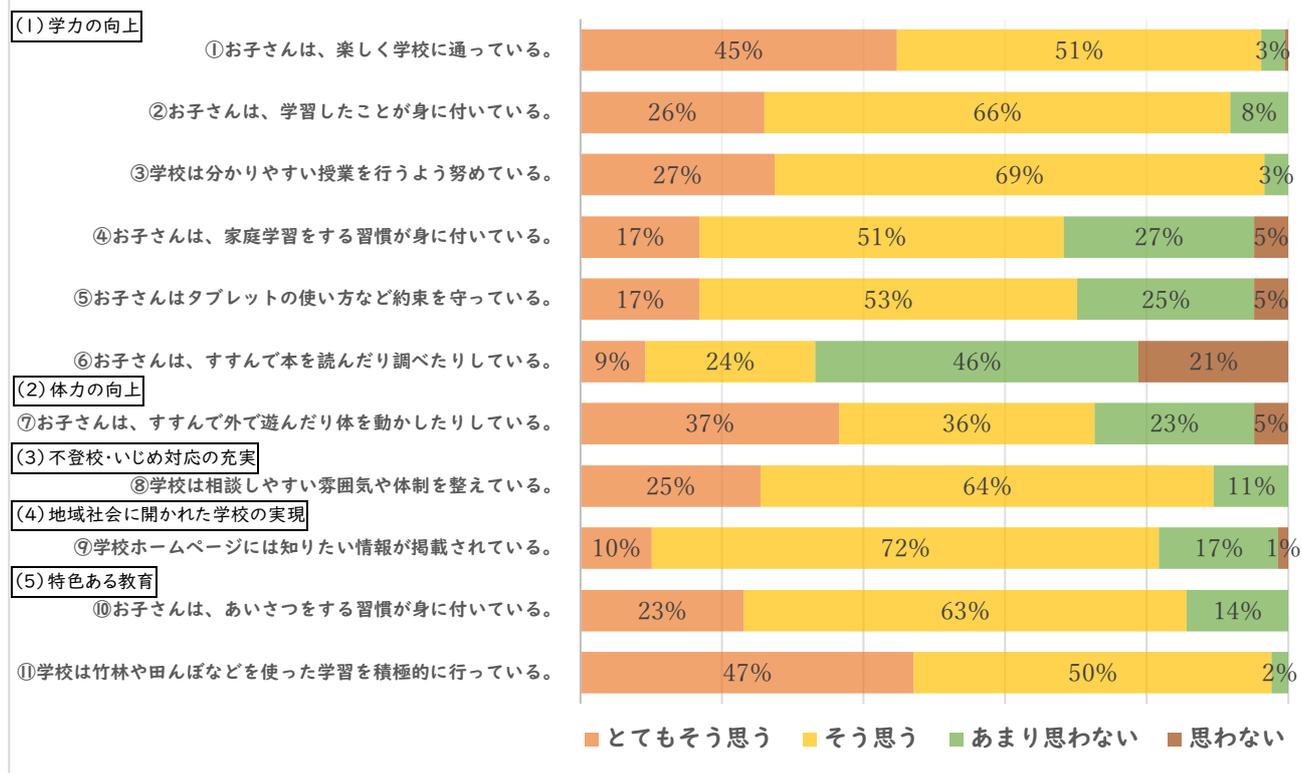
特に、話を聴くことについては、肯定的回答が96%となっており、教師が聴くことの大切さを子供たちに伝えたり聴く姿勢について繰り返し指導したりすることを通して、子供たちが意識して生活することができていると考える。掃除については、「とてもそう思う」と回答した子供が昨年度 23%だったのに対し、今年度は33%と増加している。今後も無言で清掃に取り組むことで感じられるよさや充実感を子供たち自身が感じられるようにすることで、気持ちのよい生活習慣・生活環境をつくる姿勢をしっかりと育てていきたい。

☆「かかわり、共育・協働のある学校」

各学年の学習に竹林や田んぼ、畑などを使った活動を位置付け、地域や保護者の方々の協力をいただきながら活動を行ったことにより、子供たちから多くの肯定的回答を得ることができた。本校の伝統であるこれらの学習を今後も大切に、自然を生かした環境教育を行っていく。

2 保護者アンケートより

令和6年度 学校評価アンケート【保護者】 回答数208名



(1) 学力の向上

学力について、学校での学習や家庭での学習に対して肯定的に捉えている保護者が多いことが分かるが、学習内容の定着については8%の保護者が、家庭学習の定着については32%の保護者が「身に付いていない」と感じている。どの教科や内容で定着度に差が出ているのかを普段の学習の様子や学力調査の結果などから確認し、改善が必要な分野を特定したり、家庭での学習サポートの重要性と方法について情報を共有したりすることが必要である。「お子さんが本を読んだり、本を使って調べたりしている」の設問に関しては、昨年度と同様に、肯定的な回答が大変少なかった。読書タイムを活用し、自主的に本を読む機会を増やしたり、読書記録を付けたりすることで、読書の習慣化を図っていく。また、年間で2回行っている「家読週間」について保護者の方とより協力して取り組めるようするなどさらなる工夫が必要である。

(2) 体力の向上

肯定的回答が73%であるが、昨年度より10ポイント減少している。子供たちが楽しみながら運動に取り組めるように体育科の学習をより工夫したり、休み時間の外遊びを引き続き奨励したりしていくことで、すすんで体を動かす子供たちを育てていく。

(3) 不登校・いじめ対応の充実

89%の保護者が「学校は相談しやすい」と感じている一方で、11%の保護者が「相談しにくい」と感じていることが分かる。保護者会を年間2回、個人面談を年間2回開催し、保護者が教師と直接対話する機会を定期的に設けるだけでなく、教師や職員が積極的に保護者と関わり、保護者が相談しやすい雰囲気を作り、コミュニケーションの促進を図っていく。また、定期的に学校の活動や相談窓口についての情報を発信し、保護者に最新情報を提供することで、保護者がより相談しやすい環境を整え、不登校やいじめといった問題の早期発見・解決につなげていく。

(4) 地域に広く開かれた学校の実現

学校ホームページで学校だより・学年だより等のおたよりを毎月、学校や学年のできごとを週に3回以上、給食メニューを毎日更新したり、今年度からカレンダー機能を使って学校行事予定などを掲載したりしたことが、肯定的回答を82%得られたことにつながったと考える。保護者の方や地域の方が知りたい情報は何かを探り、内容の充実を図っていく。

(5) 特色ある教育の展開

☆「静(話を聴く)・整(時間を守る・そうじを大切にす)・動(あいさつをする)のある学校」

あいさつについては、昨年度に続き保護者の方から肯定的回答を多く得ることができた。本校の教育活動の柱の一つである「あいさつ」について保護者の方への認識も深まっているのではないかと感じる。「心を育て学力を伸ばす」という学校経営方針に基づき、望ましい生活習慣の確立について今後も努めていく。

☆「かかわり、共育・協働のある学校」

各学年の学習に竹林や田んぼ、畑などを使った活動を位置付け、地域や保護者の方々の協力をいただきながら活動を行ったことにより、保護者の方から高い評価がいただけたと考える。本校の伝統であるこれらの学習を今後も大切にしていくと共に、学年だよりや学校ホームページなどを通じて保護者の方にも広く周知していく。